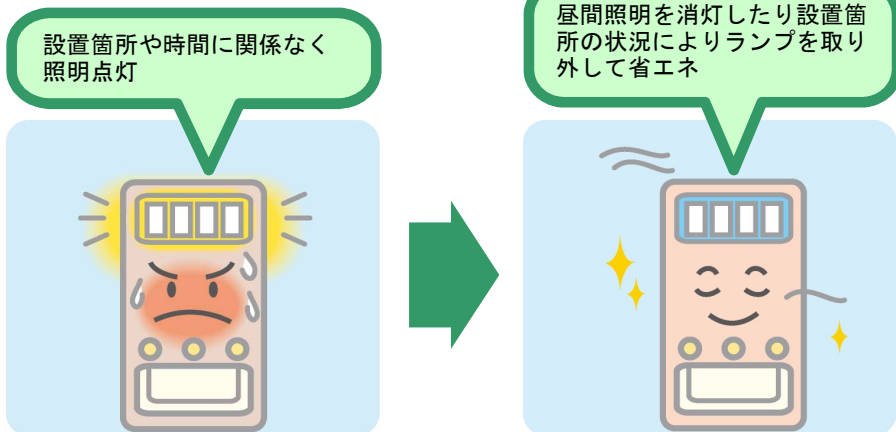


照明不要時の対策  
をしていますか？

屋外設置の自動販売機の場合、タイマーにより、照明を昼間に自動的に消灯することができません。従って、屋内設置の自動販売機の場合、蛍光灯を外す（消灯）ことで省エネを図ることができます。

対策例



効果例

	自動販売機 台数
	6台
削減電力量	6.0MWh/年
原油換算削減量	1.5kL/年
CO <sub>2</sub> 排出削減量	2.1t-CO <sub>2</sub> /年
削減金額	約110千円/年

[試算条件]

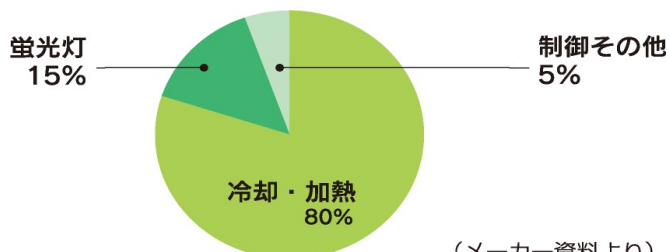
- ・自動販売機6台（3本／1台）の蛍光灯を取り外した場合
- ・建物種別：店舗
- ・蛍光灯仕様：FL32W、消費電力：38W／本
- ・点灯期間及び時間：4月～3月（365日）、0時～24時
- ・電力契約種別：業務用電力A（6kV）
- ・原油換算係数：0.257kL/MWh（昼間）、0.239kL/MWh（夜間）
- ・CO<sub>2</sub>排出原単位：0.347t-CO<sub>2</sub>/MWh（2018年度実績値（調整後排出係数））
- ・再エネ賦課金単価：2.98円/KWh（2020年度：税込み）
- ・削減金額は消費税含む。

システム導入のポイント

屋内設置の自動販売機については、設置場所の照度や利用者のサービスを考慮することが大切です。

参考資料

缶自動販売機における消費電力構成比



（メーカー資料より）